

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-2-4	事務事業名 苗木配布の推進	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 住宅の庭などにおける緑化を支援し、みどりに親しむ環境づくりを推進する。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)みどりの空間の創出(環1-2) (主要施策)市民による緑化推進
	実施内容、実施方法 市民まつりのイベントとして、苗木を無料で配布する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 配布用苗木数	活動指標の考え方(定義) 市が配布のために用意した苗木数
	成果指標名 苗木配布数	成果指標の考え方(定義) 市民に配布した苗木数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	1,999	2,000	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他				167	236	
	一般財源		0	0	1,832	1,764	
	所要人員(B)	人			0.1	0.1	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	833	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	2831.80	2832.80	
	単位当たりコスト (E)=(D)/( 配布用苗木数 )	千円	0	0	1.3		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	本			2,000	2,000
		実績値	本			2,265	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	本			2,000	2,000	
	実績値	本			2,265		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	東京都26市のうち14市で同様の事業を実施している。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし。

コード 8-2-4	事務事業名 苗木配布の推進	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	------------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	配布数が目標値をクリアしているため、実績としては、良好である。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	民有地におけるみどりを創出するために必要な事業である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	所要人員や経費面から見て適正と判断する。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市民まつりのイベントとして実施しており、市民が配布を受けやすい環境となっている。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	事業実績から見て市民ニーズが高く、緑化推進の観点からも継続実施が必要である。

17年度における改善点	市民に人気のある樹種をより多く選定する。
-------------	----------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。